

## 公開シンポジウム「文化財と史料保存問題を考える」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 史学委員会  
日本歴史学協会 史料保存利用特別委員会・文化財保護特別委員会
2. 日 時 平成21年 6月27日（土曜日）13：30～17：30
3. 場 所 学習院大学南3号館201教室（豊島区目白1-5-1）

### 4. 次 第

#### 開催趣旨

文化財や史料をどのように保存し、公開していくかという問題は歴史学や考古学にとって、これまでも死活の重要性をもつ問題であった。近年、特に公文書の保存、公開の問題が焦点になってきており、公文書法の制定も日程に上っている。このような状況に鑑み、広く歴史研究者、考古学研究者に呼びかけて、問題の所在について議論を深めたいと考え、このシンポジウムを企画した。

報告者 森田 晃一（地方史研究協議会、日本民族学会、日本史研究会、岐阜大学留学生センター教授）「岐阜県歴史資料館の現状と課題」（仮）  
谷口 榮（葛飾区郷土と天文の博物館（学芸員））「文化財の保護と博物館・資料館」

#### 【問い合わせ】

高埜 利彦（学習院大学文学部教授）

[19810924@gakushuin.ac.jp](mailto:19810924@gakushuin.ac.jp)

03-3986-0221